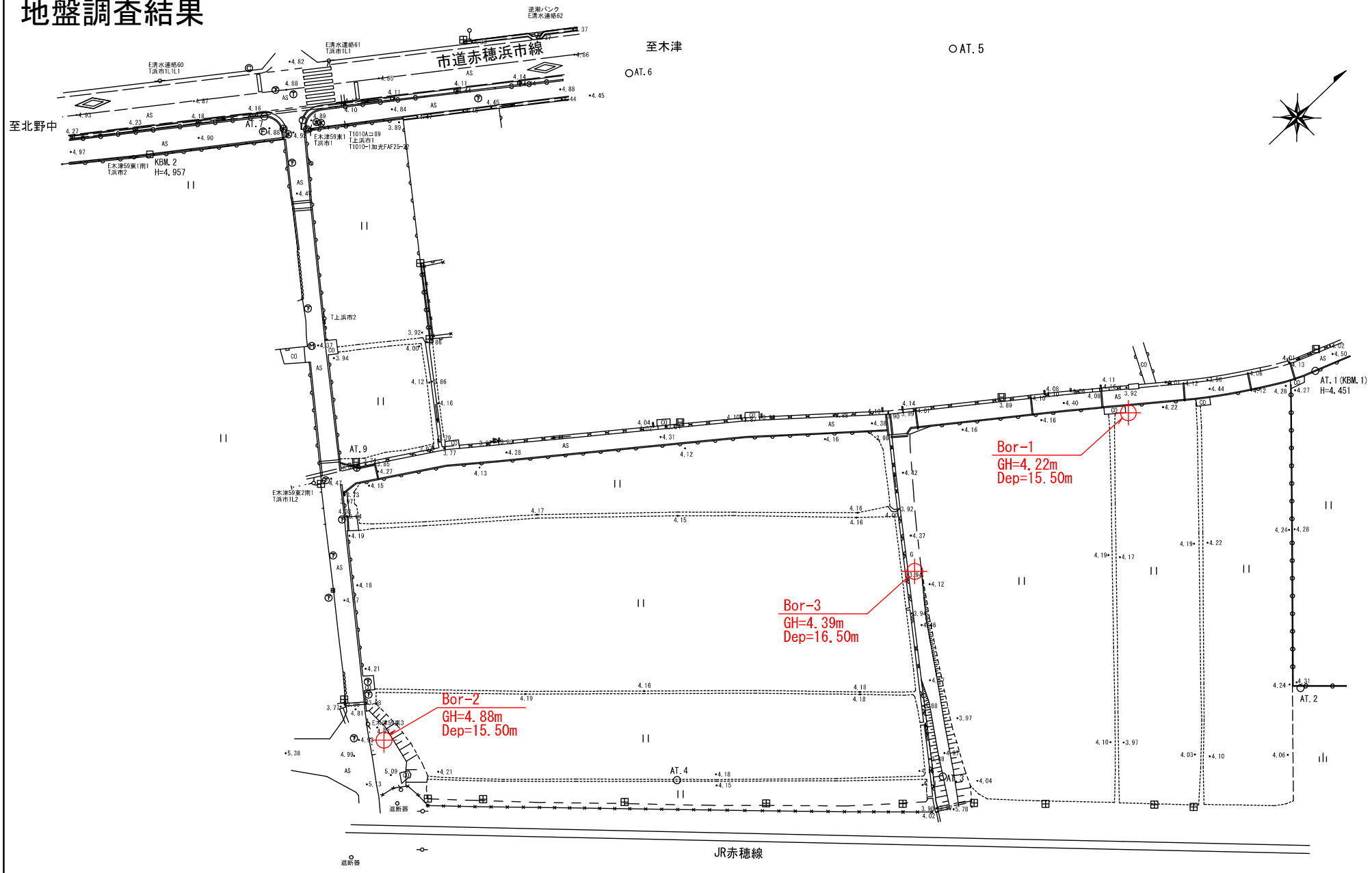
別添資料３

地盤調査結果



図面名	調　査　位　置　平　面　図		
縮　尺	(A3) S=1:500	図面番号	-

ボーリング柱状図

調　査　名　令和4年度　新学校給食センター建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

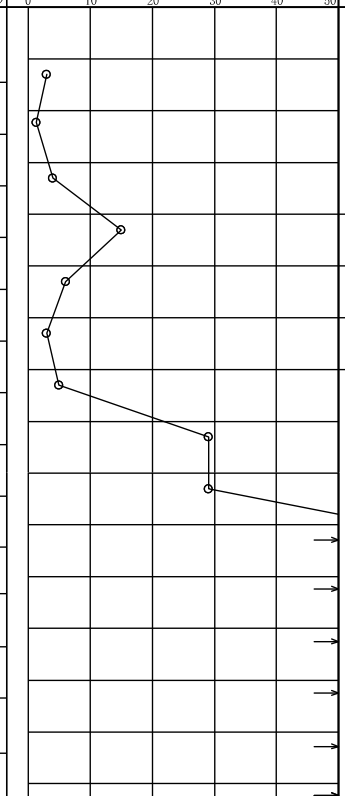
ボーリング名	Ｂｏｒ－１	調査位置	赤穂市　浜市　地内			北緯	34°46'18.7"
発注機関	赤穂市建設部公園街路課			調査期間	令和 4年 7月 25日 ～ 4年 7月 28日	東経	134°25'12.4"
調査業者名	キタイ設計株式会社 電話（0748－46－6954）	主任技師	五十嵐　慎久	現場代理人	近藤　恵太	コア鑑定者	近藤　恵太	ボーリング責任者	河合　伸浩
孔口標高	GH=4.22m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	ワイビーエム製　ＹＢＭ－０５	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	15.50m								エンジン	ヤンマー製　ＴＦ９０Ｖ－Ｅ	ポンプ	ＭＫＷ１２１０Ｂ

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	3.92	0.30	0.30		耕作土				
1 2 3 4	0.12	3.80	4.10		砂質シルト	褐灰		非常に軟らかい～締まった	細～中砂を含むシルト主体。 表層付近は、中砂含有量多い。
5	-1.03	1.15	5.25		粘土質砂礫	暗灰	非常に緩い～ゆるい		粘土分を含むφ=2～30mm程度の礫と中～粗砂から成る砂礫。
6 7	-3.38	2.35	7.60		シルト質砂	暗灰	非常に緩い～緩い		シルトを含む中砂主体。 GL-5.25～5.90mはシルト優勢。 下部に従い、粗砂やφ=10mm未満の礫が増加する。
8 9	-5.78	2.40	10.00		砂礫	暗灰	中ぐらい		φ=2～30mm程度の礫と粗砂から成る砂礫。
10 11 12 13 14 15	-11.28	5.50	15.50		砂礫	褐灰	非常に密な		φ=2～30mm程度の礫と粗砂から成る砂礫。 最大径φ=60mm程度の玉石を含む。
16 17									

孔内水位(m)／測定月日：7/26 2.15

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)
1.15	1	1	1	3／30
1.45 / 2.00	0／25	1	1	2／45
2.45 / 3.15	1	1	2	4／30
3.45 / 4.15	5	5	5	15／30
4.45 / 5.15	1	3	2	6／30
5.45 / 6.15	1	1	1	3／30
6.45 / 7.15	2	1	2	5／30
7.45 / 8.15	10	10	9	29／30
8.45 / 9.15	10	9	10	29／30
9.45 / 10.15	14	18	18／8	50／28
10.43 / 11.15	24	26／8		50／18
11.33 / 12.15	16	34		50／20
12.35 / 13.15	33	17／9		50／19
13.34 / 14.15	20	17	13／6	50／26
14.41 / 15.15	35	15／5		50／15
15.30				



原位置試験

深度(m)	試験名および結果
4.00	
5.00	現場透水試験 k=8.72E-05(cm/s)
6.00	
7.00	現場透水試験 k=1.11E-03(cm/s)

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
10.15 / 10.45	U-10	⊖	物理	7/25
				7/26
				7/27
				7/28

ボーリング柱状図

調　査　名　令和4年度　新学校給食センター建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

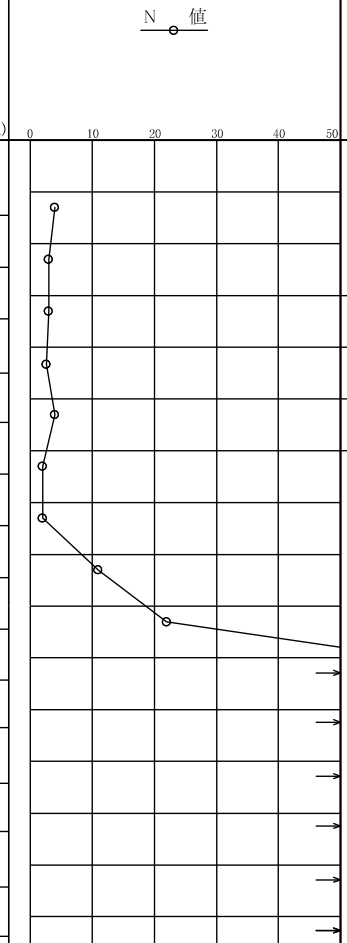
ボーリング名	Ｂｏｒ－２	調査位置	赤穂市　浜市　地内			北緯	34°46'15.3"
発注機関	赤穂市建設部公園街路課			調査期間	令和 4年 7月 8日 ～ 4年 7月 12日	東経	134°25'11.1"
調査業者名	キタイ設計株式会社 電話（0748－46－6954）	主任技師	五十嵐　慎久	現場代理人	近藤　恵太	コア鑑定者	近藤　恵太	ボーリング責任者	河合　伸浩
孔口標高	GH=4.88m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：ワイビーエム製 ＹＢＭ－０５　ハンマー落下用具：半自動落下装置
総掘進長	15.50m								エンジン：ヤンマー製 ＴＦ９０Ｖ－Ｅ　ポンプ：ＭＫＷ１２１０Ｂ

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	3.88	1.00	1.00		盛土・砂礫				砕石を含む砂礫による盛土。
	2.53	1.35	2.35		砂質シルト	茶褐		軟らかい～締まった	細砂を含むシルト主体。 φ=10mm未満の礫を含む。
	-0.47	3.00	5.35		砂混りシルト	暗灰		軟らかい	細砂を少量含むシルト主体。 下部に従い砂の含有率が減少。 植物片を含む。
	-2.02	1.55	6.90		礫混り砂	褐灰	非常に緩い～緩い		φ=10mm未満の礫と粗砂からなる砂礫。 上部にφ=20mm程度の礫が混入。
	-2.82	0.80	7.70		砂混りシルト	暗灰		軟らかい	細砂を少量含むシルト主体。 植物片を含む。
	-6.62	3.80	11.50		シルト混り砂礫	暗灰	中ぐらい～非常に密な		φ=2～30mm程度の礫と粗砂から成る砂礫。 上部はφ=10mm程度の礫が多い。
	-10.62	4.00	15.50		砂礫	褐灰	非常に密な		φ=2～30mm程度の礫と粗砂から成る砂礫。 最大径φ=70mm程度の玉石を含む。 下部に従い褐灰色を呈する。

孔内水位(m)／測定月日：7/11 1.05

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)
1.15	2	1	1	4／30
1.45～2.15	1	1	1	3／30
2.45～3.15	1	1	1	3／30
3.45～4.15	1	1／15	1	3／35
4.50～5.15	1	1	2	4／30
5.45～6.15	1／15	1／15		2／30
6.45～7.15	1／15	1／15		2／30
7.45～8.15	3	4	4	11／30
8.45～9.15	8	7	7	22／30
9.45～10.15	10	15	25／8	50／28
10.43～11.15	10	16	24／0	50／20
11.35～12.15	16	20	14／7	50／27
12.42～13.15	22	28		50／20
13.35～14.15	15	16	19／7	50／27
14.42～15.15	13	28	9／3	50／23
15.38				



原位置試験

深度(m)	試験名および結果
3.00	現場透水試験 k=3.27E-03(cm/s)
4.00	
5.00	現場透水試験 k=4.55E-03(cm/s)
6.00	

試料採取

深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）
6.15～6.45	2P-6	⊖	物理
8.15～8.45	2P-8	⊖	物理

掘進月日：7/9　7/11　7/12

ボーリング柱状図

調　査　名　令和4年度　新学校給食センター建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

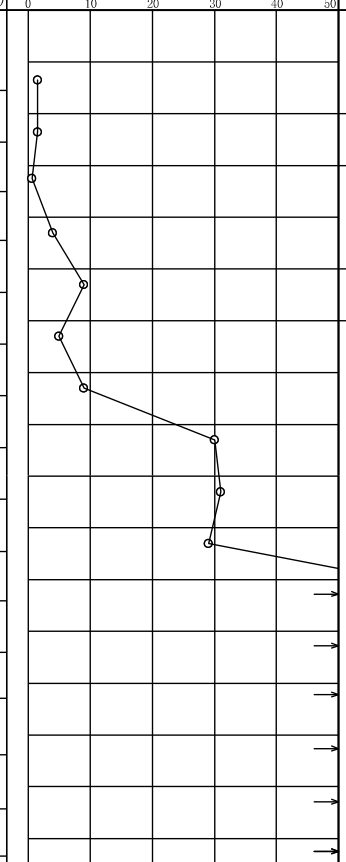
ボーリング名	Ｂｏｒ－３	調査位置	赤穂市　浜市　地内			北緯	34°46'17.7"
発注機関	赤穂市建設部公園街路課			調査期間	令和 4年 7月 14日 ～ 4年 7月 20日	東経	134°25'12.2"
調査業者名	キタイ設計株式会社 電話（0748－46－6954）	主任技師	五十嵐　慎久	現場代理人	近藤　恵太	コア鑑定者	近藤　恵太	ボーリング責任者	河合　伸浩
孔口標高	GH= 4.39m	角度	180° 上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機：ワイビーエム製 ＹＢＭ－０５　ハンマー落下用具：半自動落下装置
総掘進長	16.50m								エンジン：ヤンマー製 ＴＦ９０Ｖ－Ｅ　ポンプ：ＭＫＷ１２１０Ｂ

標尺(m)	標高(m)	層厚(m)	深度(m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事
	3.69	0.70	0.70		盛土・礫混り粘土				φ=2～50mmの礫を含む粘土主体。
1～3	0.69	3.00	3.70		砂質シルト	茶褐		非常に軟らかい	細～中砂を含むシルト主体。植物片を含む。
4	-0.51	1.20	4.90		礫混り粘土	暗灰		締まった	φ=2～30mm程度の礫を含む粘土主体
5～7	-3.31	2.80	7.70		粘土混り砂礫	暗灰	緩い		φ=2～30mm程度の礫と粗砂から成る砂礫。粘土分を少量含む。
8～10	-6.41	3.10	10.80		砂礫	褐灰	中ぐらい～密な		φ=2～30mm程度の礫と粗砂から成る砂礫。
11	-6.81	0.40	11.20		礫混り砂質シルト	暗灰			細砂を含むシルト主体。
12～16	-12.11	5.30	16.50		砂礫	灰褐	非常に密な		φ=2～30mm程度の礫と粗砂から成る砂礫。最大L=60mm程度の玉石を含む。
17									

孔内水位(m)／測定月日：7/18 (17)

標準貫入試験

深度(m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)
1.15	1／20	1／20		2／40
2.15	1／20	1／20		2／40
3.00	0／20	1／30		1／50
4.15	1	2	1	4／30
5.15	4	3	2	9／30
6.15	3	1	1	5／30
7.15	4	3	2	9／30
8.15	12	10	8	30／30
9.15	11	10	10	31／30
10.15	12	10	7	29／30
11.15	18	15	17／6	50／26
12.15	16	20	14／5	50／25
13.15	33	17／4		50／14
14.15	21	18	11／3	50／23
15.15	15	19	16／8	50／28
16.15	24	26／9		50／19
16.34				



原位置試験

深度(m)	試験名および結果
2.00	
3.00	現場透水試験 k=9.64E-04(cm/s)
5.00	
6.00	現場透水試験 k=4.02E-05(cm/s)

試料採取 深度(m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
6.15～6.45	3P-6	⊖	物理	7/16
				7/18
				7/20

ボーリング柱状図

調　査　名　令和4年度　新学校給食センター建設予定地地質調査業務委託

ボーリングNo.

事業・工事名

シートNo.

ボーリング名	Ｂｏｒ－３（別孔）	調査位置	赤穂市　浜市　地内			北　緯	３４°４６’１７.７″
発注機関	赤穂市建設部公園街路課			調査期間	令和４年７月２２日 ～ ４年７月２３日	東　経	１３４°２５’１２.２″
調査業者名	キタイ設計株式会社 電話（０７４８－４６－６９５４）	主任技師	五十嵐　慎久	現場代理人	近藤　恵太	コア鑑定者	近藤　恵太	ボーリング責任者	河合　伸浩
孔口標高	GH=4.39m	角度	180°上 90° 下 0° 0°	方向	北 0° 270°西 90°東 180°南	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0°	使用機種	試錐機	ワイビーエム製　ＹＢＭ－０５	ハンマー落下用具	半自動落下装置
総掘進長	3.50m								エンジン	ヤンマー製　ＴＦ９０Ｖ－Ｅ	ポンプ	ＭＫＷ１２１０Ｂ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	孔内水位(m)／測定月日	標準貫入試験 深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0～10	10～20	20～30	打撃回数／貫入量(cm)	N値 0 10 20 30 40 50	原位置試験 深度 (m)	試験名および結果	試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験（ ）	掘進月日
	3.69	0.70	0.70		盛土・礫混り粘土				φ=2～50mmの礫を含む粘土主体。														
1					砂質シルト	茶褐		非常に軟らかい	細～中砂を含むシルト主体。植物片を含む。										1.20	Ac-1	Ⓣ	物理・一軸・圧密	
2																	2.50		2.20				
3	0.89	2.80	3.50														3.50	孔内水平載荷試験 E=1.283(MN/m2)					1/22
4																							
5																							
6																							
7																							
8																							
9																							
10																							